



# 南が丘通信

## 教育目標

進んで学び深く考え、積極的に行動する人  
 思いやりの心を持ち、互いに協力する人  
 心身ともに健康で、創造力のある人

練馬区立南が丘中学校

校長 宮田 健史

〒177-0035

練馬区南田中 4-8-23

TEL 03-3904-5782

URL <https://www.nerima-kyo.ed.jp/minamigaoka-j/>

令和7年度 特別号 令和8年3月13日発行



## 令和7年度 学校評価アンケート結果報告及び自己評価

- 1 実施方法 Google forms による意識調査
- 2 実施時期 令和7年11月
- 3 調査人数 生徒 248名 (90.5%)、保護者名 170名 (62.0%)、教職員 22名 (100%)  
評議員 6名 (75.0%)
- 4 調査結果 肯定的な意見を抽出 (4段階中「そう思う」「やや思う」の割合)

NO	質問	生徒	保護者%	教職員	評議員
1	生徒は学校に行くことが楽しいと感じている。	87.5%	85.3%	95.5%	100%
2	生徒は安心して学校に通うことができている。	95.6%	91.2%	100%	100%
3	授業は1時間の「めあて」が明確になっている。	87.5%	81.2%	100.0%	83.3%
4	一人一人の生徒を大切にしたい、個に応じた学習指導(はたらきかけ)がされている。	88.3%	74.1%	100.0%	83.3%
5	話し合い活動・発表活動・読書活動など言語活動を重視した授業が進められている。	94.0%	85.9%	95.5%	100%
6	生徒用タブレットなどICT機器を活用した授業が進められている。	92.3%	87.1%	90.9%	100%
7	明けテストや学習教室を行い、家庭学習の習慣が進むような取組をしている。	90.7%	88.2%	100%	100%
8	習熟度別少人数学習により、意欲や学力を高める取組が進められている。	89.5%	84.1%	100%	100%
9	保健体育科の授業を中心に、十分な運動量を確保する取組が進められている。	95.2%	85.3%	100%	83.3%
10	生徒の学力、能力、努力を適切に評価している。	89.9%	81.2%	100%	100%
11	生徒一人一人が大切にされ、生徒の気持ちに寄り添った対応が行われている。	87.9%	75.3%	100%	100%
12	生徒が学校生活の決まりを守れるよう適切に指導している。	94.0%	88.8%	100%	100%
13	生徒は「あじみこし」(あ:挨拶、じ:時間、み:身だしなみ、こ:言葉遣い、し:姿勢)の大切さを理解できるような指導(はたらきかけ)が行われている。	89.1%	92.4%	100%	100%
14	いじめ未然防止のための生活指導・教育相談・環境整備に努めている。	89.1%	85.9%	100%	83.3%
15	家庭と協力し、インターネット・SNSトラブルの未然防止に努めている。	92.7%	78.8%	86.4%	86.4%
16	将来の生き方を考えさせたり、体験させたりする適切な進路指導が行われている。	90.7%	80.6%	100%	100%
17	三者面談・キャリアパスポート・進路希望調査などを通じて家庭と連携し、適切な進路指導が行われている。	92.7%	82.9%	100%	100%
18	運動会や文化発表会などの学校行事では、生徒が中心となって活動している。	94.0%	94.1%	100%	100%
19	生徒会・委員会活動などの生徒の主体的活動を促す指導(はたらきかけ)が行われている。	96.0%	88.2%	100%	100%
20	部活動の指導は適切に運営がされている。	86.3%	79.4%	100%	83.3%
21	特別支援教育に力を入れ、生徒同士の交流や共同学習を進めている。	91.1%	79.4%	90.9%	100%
22	授業体験や行事を通して南が丘小・南田中小と連携する活動を進めている。	87.9%	85.9%	100%	100%
23	セーフティ教室、避難訓練、などの安全指導の充実に取り組んでいる。	94.8%	90.6%	100.0%	83.3%
24	掃除が行き届き、施設・設備を含めてよりよい環境の整備に取り組んでいる。	94.0%	94.1%	95.5%	100%

25	給食の献立は工夫され、栄養のバランスが良く、安全である。	96.4%	90.6%	100%	100%
26	保護者や地域の方々は学校行事や授業公開に参加しやすい。	84.7%	90.0%	100%	100%
27	電話をしたり学校を訪問したりした際の教職員の対応は親切で好感がもてる。	—	87.6%	100%	100%
28	学校は保護者・地域に対して、学校の教育内容等を学校だよりやホームページ等で積極的に発信している。	—	88.8%	95.5%	100%
29	学校は保護者・地域と連携しながら学校を運営しようとしている。	—	87.6%	95.5%	100%
30	言語活動を重視した授業により、考える力や表現する力が高まった。	91.5%	—	—	—
31	ICT 危機を活用した授業を通じて、授業に取り組む意欲が高まった。	88.3%	—	—	—
32	少人数習熟度別の取組により、学習への理解が深まった。	86.7%	—	—	—

## 5 自己評価結果

### (1) 確かな学力の定着・体力の向上につながる授業の実践

- ①教職員全員で「めあて」を提示し、その時間に生徒が何を学ぶかを明確にしてきた。学校評価では生徒から 87.5%の肯定的な回答を受けた。保護者からも、81.2%の肯定的な回答を受けた。「めあて」を通して毎時間「振り返り」を行い、より良い学習内容の定着を図る。
- ②学校評価アンケートでは、「一人一人の生徒を大切にしたい、個に応じた学習がされている」に、生徒の肯定的な意見が 88.3%と昨年度に比べて約 7%以上、上がった。数学・英語での習熟度別少人数授業の成果だと考える。さらに定期考査前の学習教室と明けテストなどの成果だと考える。明けテストと学習教室に関しては、生徒の肯定的な意見は 90.7%、保護者の肯定的な意見は 87.1%と昨年度に比べて約 8%以上、上がった。長期休業中の家庭学習のあり方を検討し、学習習慣を身に付け、生徒が学習に向かう力を育むようにした成果だと考える。今後も少人数授業等の取組を続けていくとともに、効果的な学習の方法の収集と検討を重ね、保護者と共通理解を深め、自分で学習する力の定着を図る。
- ③「話し合い活動・発表活動・読書等の言語活動を重視した授業が進められている」に、生徒の肯定的な意見が 94.0%と昨年度に比べて約 5%以上、上がった。保護者の肯定的な意見 85.9%であった。校内研究で取り組んだ発表活動等で自信ができてきた証と考える。英語科と国語科のスピーチ学習等、考える力を高める取組を行った結果と考える。
- ④体育の授業では毎時間、サーキットトレーニングを行っている。これにより運動量が確保されているため、生徒・保護者からこの項目について高い支持を得ている。次年度も続けていく。

### (2) 規範意識の高い、心豊かな生徒の育成

- ①年間 3 回のふれあいアンケートや長期休業明けのアンケート、トーキングタイム等を行い、早期発見早期解決を次年度も心掛けて取り組む。
- ②生徒の困り感を素早くつかめるように教員全員で対応した。また、問題発生や課題を見つけた際は、学年、学校がチームとなり迅速に対応し、保護者への丁寧な説明なども行った。
- ③学校の生活指導の取組としての「あじみこし」が定着している。特に「あいさつ」は保護者や来校者からも高い評価を得ている。次年度はさらに「失敗から学ぶ」を「し」に含め、主体的に行動する意欲に結び付けたい。
- ④4月に情報モラル講習会を実施した。生徒の評価が、昨年度に比べて約 8%以上、上がった。SNSトラブルの未然防止はとてもしっかりと取り組むべき課題だが、生徒と保護者にふさわしい使用方法等について情報提供し、学校と家庭の共通認識を図り取り組んでいく。

### (3) 夢や希望を育む進路指導

- ①本年度も第2学年で職場体験を実施することができた。また、5月に3年生対象に区内で活躍している方を講師として、「職業人の話を聞く会」を行った。生徒は社会で活躍する姿や活動する意義を学ぶことができた。次年度も実施したい。
- ②学校では生徒の自律を目指し、3年間を見通したキャリア教育の実施に取り組んでいる。学校評価アンケート No16、No17 では生徒の評価は90%以上、保護者の評価は80%以上であった。2年間の練馬区教育課題研究指定校としての取組が評価されたと捉えている。次年度も、これまでの取組が着実に実施できるように全体計画・年間計画を見直していく。

#### (4)主体的に関わる学校行事、諸活動の実施

- ①運動会や移動教室、合唱コンクール等の各行事では生徒が中心となって運営できた。そのため学校評価アンケート No18 では生徒・保護者共評価は94%以上であった。生徒たちが意欲的に取り組めるよう、教員が細やかに指導している賜物である。これを本校の伝統として継続していきたい。
- ②生徒会朝礼を通し、毎月の各種委員会の活動を発信している。No19 では生徒の評価は96%であった。生徒会・委員会活動などの主体的活動を促す働き掛けが行われている。
- ③スポーツ庁や文化庁のガイドラインを遵守し、部活動を適切に運営している。都や区の今後の動向が不明瞭であるため、中期的な方向性を示せないことは課題である。また学校規模が小さいため顧問の確保が難しい。部活動運営は教員の働き方改革を進めながら、生徒の活動を中心として保護者・地域とともに考えていきたい。

#### (5)特別支援教育（不登校生徒対応を含む）・小中一貫教育の推進

- ①隔週で適応推進委員会（特別な支援を必要とする生徒対応）を行っている。巡回臨床心理士やMSURの教員と連携を取りながら、特別な支援を必要とする生徒への対応を検討・実施することができた。
- ②特別支援学級とのポッチャ、モルックの交流活動を行った。運動会などの行事では、特別支援学級と通常級との直接交流を通し生徒同士の関係を深めることができた。No21 では生徒の評価は91%で昨年度と比較して7%以上向上した。特別委員会や生徒会活動等の直接交流を次年度も継続していく。
- ③小中連携に関する項目では生徒の評価は87.9%と昨年度と比較して5%以上向上した。小学生の中学校体験、中学1年生によるリトルティーチャー、小中合同の挨拶運動を行った。今年度は中学校体験の前に小学生からのアンケートをとり、それに生徒会が答える取組を実施したことが高評価につながったと考える。来年度も継続する。

#### (6)安全・健康への配慮

- ①生徒の災害時の素早い判断力と行動力を向上させるため、毎月の避難訓練・安全指導では課題を提示して実施することで、生徒に避難に際しての判断力、行動力を養えていると考えている。No23 では生徒の評価が約7%向上し、訓練に真剣に向き合った成果と考える。
- ②学校評価アンケート No25 では生徒の評価は96%で昨年度と比較して6%以上向上した。栄養教諭が中心となり、栄養・衛生管理を適切に行うだけでなく、栄養教諭からの毎食の給食カードや巡回指導の成果の賜物である。

#### (7)地域に開かれた学校づくり

- ①今年度は運動会も文化発表会も平日開催となったが、多くの保護者にご来校いただけた。運営面でもPTAの協力により実施できた。来年度も保護者や地域が学校行事や学校公開に参加しやすいよう、PTA等と協力していく。

- ②電話や来客への教職員の対応について、No27 では保護者評価は 87%と昨年度より数値が下がった。今後丁寧な対応を進めるよう全教職員で取り組んでいく。
- ③学校だよりやホームページを活用し、積極的に情報発信を行うことができた。
- ④Sigfy を活用した通知の配布、Google forms を活用したアンケート等など、ICT を活用し保護者の負担感や紙の使用量を減少させた。利便性はあるが、学校評価など保護者の回答率は減少している。

## 6 学校評議員より

### (1)成果

- ①不登校生徒数が減少している。
- ②学校評価のアンケート結果が、昨年度と比較して全般的に向上したのは、教職員の方の成果として評価する。
- ③生徒たちが明るい表情で登校している。
- ④主体性のある明るい学校生活が、アンケートの集計結果より感じられる。ホームページの更新が頻繁に行われ、学校生活の様子が伺われる。
- ⑤給食に対しての生徒の高評価が大変うれしい。

### (2)課題

- ①学校評価アンケートで、保護者の回答率（62.0%）が低い。SNS やスマホのトラブル防止に関する家庭内での保護者の問題意識が課題と考える。
- ②国、都、区レベルの問題かもしれないが、部活動についての課題が挙げられる。部活動の地域移行も含めて運営については、不明瞭な点が多い。
- ③保護者の満足度の低い個々への対応について、何を求められているのかを確認したい。

### (3)改善策

- ①SNS トラブル防止については、情報モラル講習会などに生徒だけでなく、保護者も積極的に参加していただき、共通認識をもっていただけるようにする。
- ②部活動については区の動向をもって、徐々に変革していく。
- ③学校の教育活動に対して保護者に興味・関心をもってもらうようにする。文化発表会、ダンス発表会プレゼンテーション活動など、学校公開日と重ねることで、保護者に我が子の様子に興味をもたせ、学校に足が向くようにしていきたい。

本年度も本校の学校教育活動に多大なるご支援をいただきありがとうございました。

生徒・保護者・教職員・評議員の皆様からの様々な意見を分析し、令和7年度の自己評価を作成いたしました。今年度はインフルエンザの流行により、文化発表会を全校で実施することはできませんでしたが、その他の行事はきちんと実施することができ、生徒の意欲の高まり、心身の成長、学力の向上を感じることができました。

またアンケート結果より、学校での教育活動を保護者に理解していただくための取組をこれからも積極的に進めていく必要があると感じました。本年度の課題を学校全体で共有し、組織的に改善をすすめてまいります。

次年度も、保護者・地域・感謝の皆様の一層のご支援ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

練馬区立南が丘中学校  
副校長 眞坂 明子  
TEL 3904-5782